

マイナ保険証 利用の際エラー表示の不具合 徳島 阿南

NHK 2024 年 12 月 5 日 17 時 51 分

徳島県阿南市で 12 月 3 日から 5 日にかけて、マイナンバーカードと健康保険証が一体化した「マイナ保険証」を利用する際、誤って有効期限が切れていると表示される不具合があり、市は「多大な迷惑をかけたこととお詫びします」としています。

阿南市によりますと、3 日から国民健康保険の加入者がマイナ保険証を医療機関に提示した際に、誤って「資格を喪失している」というエラーが表示される不具合が相次ぎました。

最大で 7493 人にエラー表示が出るようになったということで、市がマイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う業務を委託した業者が、有効期限を誤って入力したことが原因だということです。

全国的なマイナ保険証への移行が原因とみられるシステムの混雑で、エラー解消の処理が遅れ、不具合は 5 日午後 3 時ごろになって解消しました。

阿南市保険年金課は「不具合の影響を受けた被保険者や医療機関に多大な迷惑をおかけしたことをお詫びします。今後は誤りがなく十分に確認するよう業者に指導し、再発防止に努めてまいります」とコメントしています。

マイナ保険証移行作業で医療費の負担割合を誤登録

青森 六戸町

NHK 2024 年 12 月 5 日 17 時 49 分

青森県六戸町はマイナンバーカードと健康保険証が一体化した「マイナ保険証」への移行に向けた作業の中で、一部の住民の医療費の負担割合について、誤ってシステムに登録するミスがあったと発表しました。誤った割合で医療費を払った人がどれだけいるかは分からないということで、町は今後必要に応じて還付などの手続きをとるとしています。

六戸町によりますとマイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けて、※国民健康保険に加入する住民の資格情報の更新作業を行った際、委託した業者が作業の手順を誤ったということです。

影響が出たのは健康保険証の新規発行が停止され、「マイナ保険証」を基本とする仕組みへの移行が始まった 12 月 2 日から 3 日までの 2 日間で

▽2 割負担とするところを 3 割負担と登録したのが 659 件

▽10 割負担とするところを 3 割負担と登録したのが 12 件ありました。

医療機関の事務員が、患者の負担割合がこれまでと違うことに気付いて発覚しました。

誤った情報はこれまでに修正されましたが、実際に誤った負担割合で医療費を支払った人がどれだけいるか分からないということで、対象の住民に個別に通知し、必要に応じて還付や納付の手続きを行うとしています。

六戸町町民課は「委託業者との情報共有を図りながらシステムの適正な運用を行って再発防止に努めたい」とコメントしています。